

事務事業名	五行川二宮遊水地環境整備事業				担当	建設部 建設課 道路建設係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	計画的な土地利用			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2.道路橋りょう費	3.道路新設改良費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成27年度～平成36年度）		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一級河川五行川において、台風やゲリラ豪雨などの大雨時に河水を一時的に貯留させることにより洪水被害を防ぐため、栃木県が石島、沖、大根田内にまたがり整備している二宮遊水地について、その一部を占用し平常時における市民の憩いの場を整備する。 遊水地面積 約4.0ha（右岸側A池11ha、左岸側B池29ha） 洪水調節容量 約8.1万m³（右岸側A池23万m³、左岸側B池58万m³） 							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・栃木県との協議 栃木県における遊水地整備事業及び一般県道西田井二宮線石島バイパス道路改良事業の事業進捗との調整を図る。 31年度計画 ・栃木県との協議 栃木県における遊水地整備事業及び一般県道西田井二宮線石島バイパス道路改良事業の事業進捗との調整を図る。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	遊水地環境整備工事	件	0	0	0	0	0
	イ	計画策定、設計等業務委託	件	0	1	0	0	0
	ウ							
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・五行川二宮遊水地及び遊水地利用者（市民）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	整備完了遊水地面積	ha	11	11	11	26	36
	イ	遊水地利用者（市民）	人	80,590	79,422	79,542	79,414	79,324
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・良好な水辺環境の保全、水辺空間の有効な利活用	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	整備率（事業費ベース）	%	0	0	0	0	0
	イ	利活用面積（占用面積）	ha	0	0	0	0	0
	ウ	占用率（面積ベース）	%	0	0	0	0	0
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・計画的な土地利用	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	緑などの自然環境が良いと感じている市民の割合	%	86.8	87.9	90.1	89.3	88.3
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	2,852	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	2,852	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	240	200	50	60
		人件費計(B)	千円	1,006	831	208	250
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,006	3,683	208	208	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年6月、栃木県及び二宮町において五行川第2遊水地利用計画図を作成。 平成16年9月、第2遊水地から二宮遊水地に名称を変更した。 平成21年3月、真岡市と二宮町との合併により、新市において利用に関する事業計画を検討することとした。 栃木県における五行川二宮遊水地整備事業の進捗が図られてきたことから、平成27年度に利活用に関する基本計画を策定した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県における五行川二宮遊水地の整備状況は、平成30年度末時点で右岸側A池及び左岸側B池の越流堤の一部と下池の掘削工事が完了している。 栃木県における一般県道西田井二宮線石島バイパス道路改良事業の進捗状況は、平成28年度より用地補償を実施し、平成30年度より工事に着手したところである。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年3月に地元代表及び関係団体等と意見交換会を実施した。（特に意見なし） 栃木県より、既に整備された部分についての利活用を強く要望されている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・大雨時に市民の安全を守る二宮遊水地を保全し、平常時に市民の憩いの場として活用することは、土地の有効な利活用に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・遊水地は大雨時に洪水を防ぐことを本来の目的として栃木県が整備するものだが、平常時において広く市民の憩いの場として利活用するものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・遊水地は大雨時に市民の安全を守り、平常時は市民の憩いの場となるものであり、対象は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・栃木県の遊水地整備事業と進捗を合わせ進めている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止、休止した場合、遊水地は大雨時に洪水を防ぐ本来の機能を有するのみであり、自然豊かな水辺環境を平常時に利活用することが出来ない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・設計業務、工事について積算基準等に基づき適正に実施しており削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・計画策定や設計を業務委託するなどし、必要最低限の人員で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・広く市民の憩いの場として利活用するものであり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							